

小池としあき市政レポート

小池としあき 〒417-0001 富士市今泉 2305-5
TEL：52-5453 FAX：69-1129 Email：koike473@ab.thn.ne.jp
ホームページ：https://www.koike473.com/



正々堂々

市民の皆様には、令和7年の新春を健やかに迎えのことと心よりお慶び申し上げます。

私は、議長就任以来、積極的な政策提案ができる「強い議会」を目指し、取り組んでまいりました。議会の重要な役割である予算・決算審査においては、全議員が審査する予算決算委員会を設置し、さらに分科会を設けることで、各分野の常任委員会による、きめ細かい、継続性のある審査を行っております。

また、市立中央病院の建替えについては、新病院建設特別委員会を中心に、令和13年度の開院を目指し「新病院建設基本計画」を審査してまいります。併せて市民ニーズが高まっている救急医療の体制、在宅医療の在り方についても方向性を見出す所存です。市民の声に耳を傾けながら、山積する諸課題に真摯に向き合い、市勢のさらなる発展に寄与してまいります。

年頭に当たり、皆様のご健勝とご多幸を心から祈念申し上げ、新年の挨拶とさせていただきます。



広報ふじ 令和7年1月号

富士市議会議員
こいけ としあき
小池 智明

議長に就任し1年半が経過しました。
「強い議会」を目指す中、新中央病院の建設構想、議長として進めてきた議会内の改革、そして昨年の日々の活動についてご報告します。

「強い議会」を目指し、議会全体でさまざまな改革に取り組んでいます！！

現在、富士市議会は6つの会派で構成されており、会派代表者会議等で提案、調整しつつ改革を進めています。
隣接する富士宮市、沼津市の両市議会とも合同研修会等を開催し、広域での情報交換・連携を密にしながら議会力の向上に努めています。

■「ふじ市議会だより」創刊200号を祝う議員全員



■富士宮市議会(7/8)、沼津市議会(12/17)との合同研修会(いずれも静岡新聞記事)

市議会親交 高め合う

再開発や改革 課題共有

沼津と富士の両市議会が昨年からの親交を重く連携強化させている。17日には富士市議会が沼津市を訪れ、同市の再開発事業について知見を深めた。今後、議会改革や共通課題の解決へ共有化を図るとともに、地元経済界を中心に指摘されている広域連携のあり方も模索する。

「前に進めるには相互理解が欠かせない」。沼津市議会の高橋正樹議長は意気込みを語り、市役所で同日行った意見交換会では、再開発事業とまちづくりのほか、同市議会が創出したハラスメント防止条例や常任委員会再編などに富士市議会から質問が相次いだ。

富士市議会も議会改革を加速させている。参加した同市議会の一人は「参考になることが多い」とした。

両市議会は昨年、水害対策となる新放水路の現場見学などを行った。今回は沼津市中心市街地の再開発事業の現場(町方町、大手町)視察も実施した。富士市ではJR富士駅周辺で再開発が本格化している。

榎重秀・沼津、小長井義正・富士の両市長は定期的な合同視察を計画している。

下水処理場を視察

富士・富士宮市議会が合同で

富士市議会は8日、富士市宮市議会との合同視察と意見交換会を開いた。両市から43人が参加。汚泥の燃料化やバイオガス精製、新型消化槽の導入など最先端の取り組みをしている富士市の下水処理場(西部浄化センター、東部浄化センター)を見学した。

東部浄化センターでは、本年度から実施実験をしている最新のパネル型消化槽を視察。従来の縦型消化槽に比べて消化タンクの小容量化や建設工場の短縮ができる上、建設費や維持管理費などの総額も15%程度の削減を想定している。

合同視察は両市の先進的な取り組みなどを視察し、知見を深め、議員の質向上や充実した議会活動、広域連携に資する目的で実施されることだ。

「富士市立中央病院 新病院建設基本構想」について…新病院建設特別委員会の検討から

6年12月26日に開催された議会の「新病院建設特別委員会」で「富士市立中央病院 新病院建設基本構想」が承認されました。
新病院の概要と検討経過、今後のスケジュール等を紹介します。



1 新病院の建設場所と規模…「現地建替え」とします

- 建設場所：「現在の中央病院敷地内」で現地建替え
→現病院から3km以内で30,000㎡以上の土地が確保できそうな「現病院敷地」、「中央公園」、「広見公園」、「ふじさんめっせ」、「香西新田(田んぼ)」を候補地として検討し、早期土地確保、交通アクセス等の観点から「現病院敷地」に決定しました。
- 病床数：450床程度(現在は520床)
→現病院の病床数(入院可能なベッド数)は520床ですが、将来的に減少する入院患者数、短縮化する平均在院日数、急性期患者を中心とする高い目標病床利用率(90%)を踏まえ450床程度を想定します。
- 1床当たりの床面積：90㎡程度(現在は60㎡/床)
→近年建替えを行った病院の事例を踏まえ、現病院の1.5倍の余裕を持った90㎡/床を想定。延床面積は現病院の31,543㎡から40,500㎡に拡大します。